

プロジェクト参加者ヒアリング調査

①参加者の特性

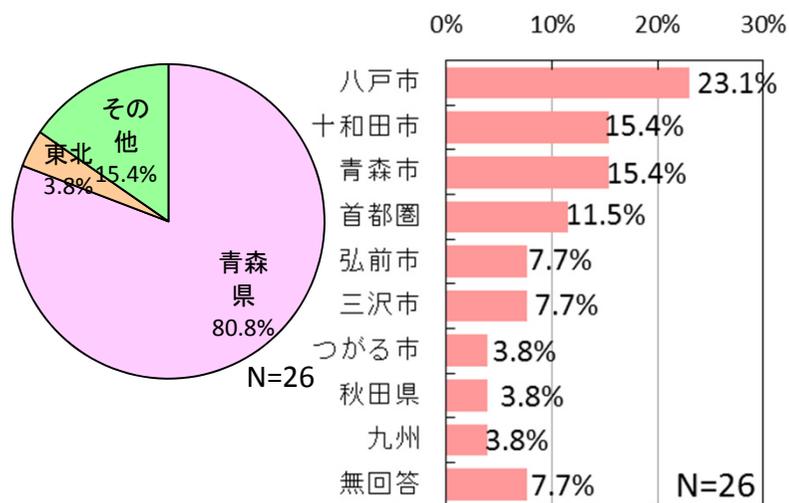
- 十和田湖温泉郷駐車場から路線バスを利用された方は、77人（9/2=31人、9/3=46人）
- 参加者の約8割が青森県内であったが、首都圏等からの参加者も15%
- 県内参加者の8割以上がリピーターなのに対して、県外参加者は全員が初来訪

▼ 参加者ヒアリングの様子

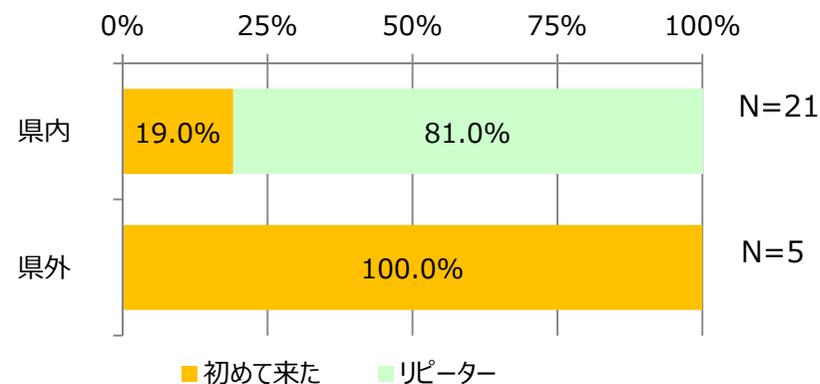


注：路線バス利用者に対して、十和田湖温泉郷駐車場に戻られた時点で今回の取り組みに対する評価を家族の代表者に確認

▼ 参加者の居住地



▼参加者の居住地別 奥入瀬溪流来訪回数

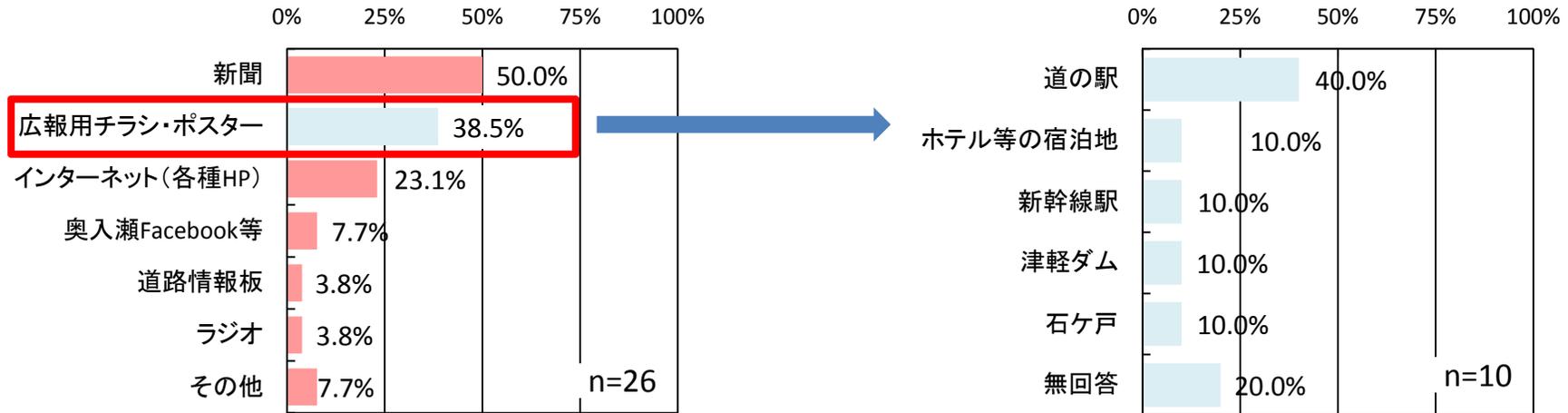


■プロジェクト参加者ヒアリング調査

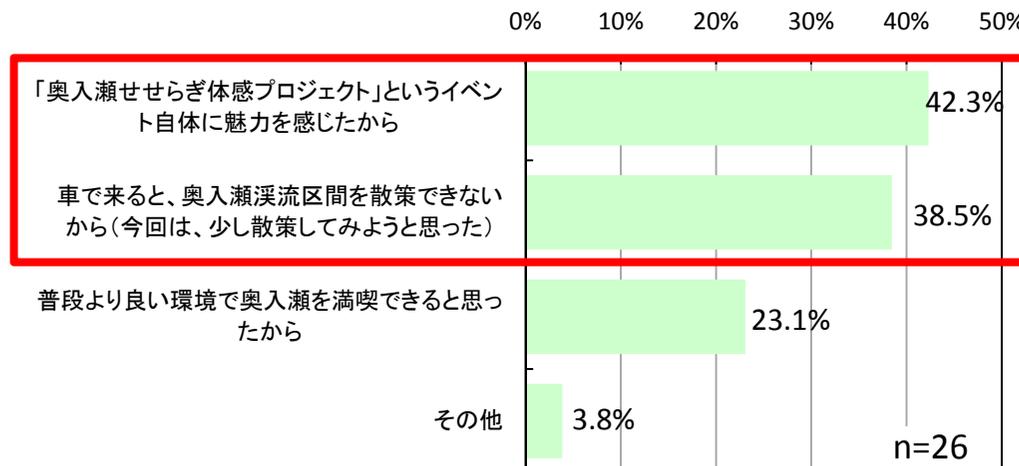
②認知媒体と参加動機

- 路線バス利用者の8割が青森県内客だったこともあり、**半数が新聞により今回のプロジェクトを認知**
- また、参加者は自動車利用のため、**広報用チラシ・ポスターを通じた認知度も高く、道の駅で見た方が4割**
- 参加動機としては**「プロジェクト自体に魅力を感じた」「奥入瀬を散策したい」という理由がそれぞれ4割前後**

▼参加者のプロジェクト認知媒体



▼「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」への参加動機

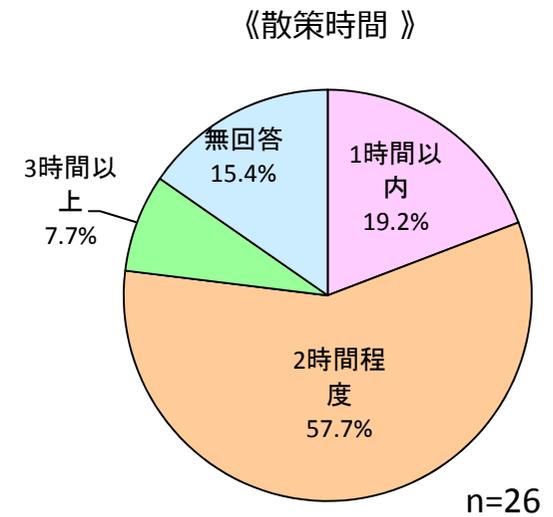
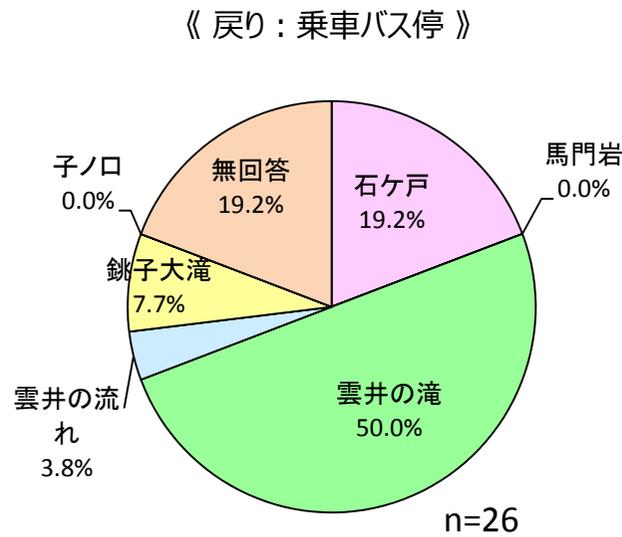
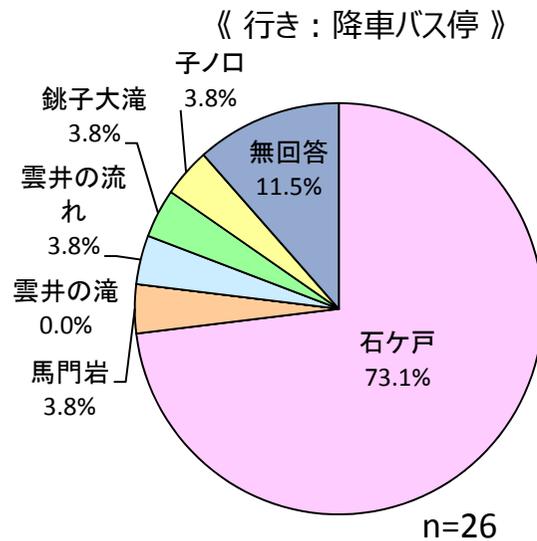


■プロジェクト参加者ヒアリング調査

③奥入瀬溪流の散策状況

- 路線バス利用者の7割が石ヶ戸で降車し、奥入瀬溪流を散策
- ボランティアガイド利用者の多くが、石ヶ戸～雲井の滝間を2時間程度かけて散策し、雲井の滝より乗車
- 3時間以上かけて、雲井の流れ鉾子大滝まで散策する方も1割以上

▼ 参加者の奥入瀬溪流区間散策状況



プロジェクト参加者ヒアリング調査 ④ ボランティアガイド活用状況

- 参加者の65%は奥入瀬溪流来訪が4回目以上のリピーターであるが、うち76%が十和田西高校生ボランティアガイドを活用しており、再訪の動機付けにもなっている
- また、奥入瀬溪流に初めて来訪し今回のプロジェクトに参加された方は、全員が十和田西高校生ボランティアガイドを活用している

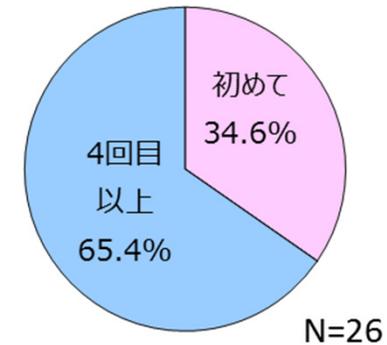
▼ ボランティアガイドを活用した主な理由

活用した理由	来訪回数	居住地
地元の高校生だから	初めて	十和田市
初めて溪流を歩くので、説明して欲しかったから	初めて	青森市
期待したので	初めて	首都圏
初心者のため	初めて	九州
高校生が一生懸命だったので説明してもらった	4回以上	八戸市
案内を聞いてみたかった	4回以上	八戸市
説明を聞きたいので	4回以上	八戸市
興味があったので	4回以上	八戸市
1回聞いたかった	4回以上	八戸市
一部のみ（アシュラの流れから雲井ノ滝まで）	4回以上	八戸市
案内を聞いてみたかったの	4回以上	十和田市
ゆっくりガイドしてもらいながら、歩いてみたかった	4回以上	十和田市
せっかくの機会だから	4回以上	十和田市
声が大きく元気そうだったから	4回以上	青森市
来訪した主目的	4回以上	青森市
高校生による活動に感心もあり感動も覚えた	4回以上	弘前市

▼ ボランティアガイドを活用しなかった主な理由

活用しなかった理由	来訪回数	居住地
リピーターなので	4回以上	三沢市
何度も来ているので	4回以上	三沢市
時間の都合	4回以上	つがる市

▼ 参加者の奥入瀬来訪回数



▼ MM参加者の奥入瀬溪流来訪回数とボランティアガイド活用状況

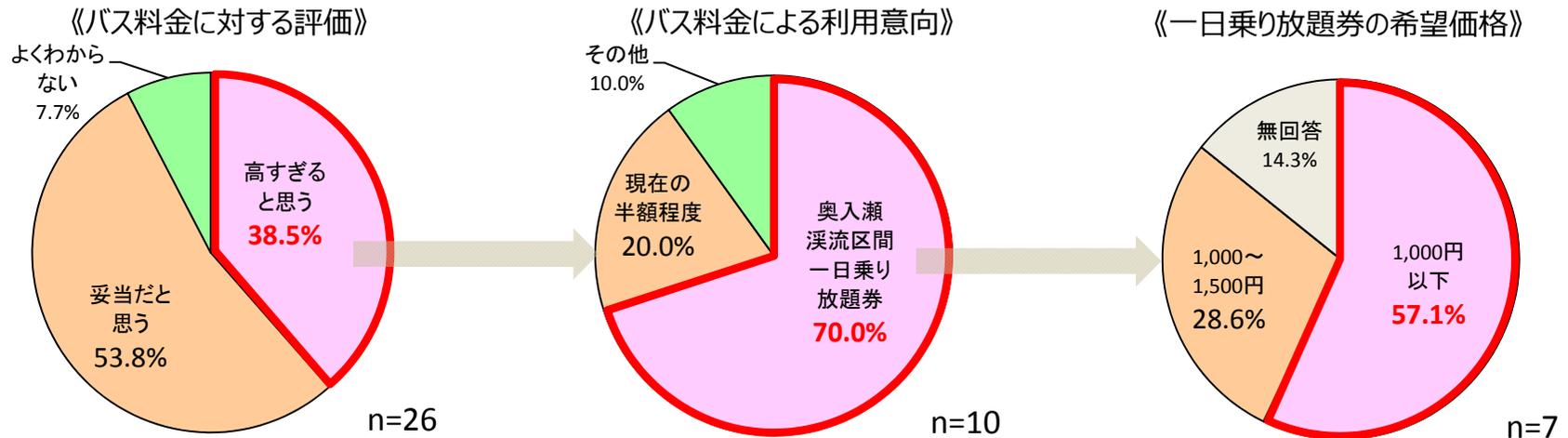


■ ボランティアガイドを活用した ■ ボランティアガイドを活用しなかった

プロジェクト参加者ヒアリング調査 ⑤ 路線バス料金に対する評価

- 自家用車から路線バス利用に転換した方の 4 割弱がバス料金を高いと感じており、今後のバス利用に際しては、1,000円以下で奥入瀬溪流区間一日乗り放題券を希望する方が 6 割弱を占める
- バス利用区間により料金も変動するため、銚子大滝まで散策される場合の不満が高くなる傾向が見られる

▼ 参加者の路線バス料金に対する評価

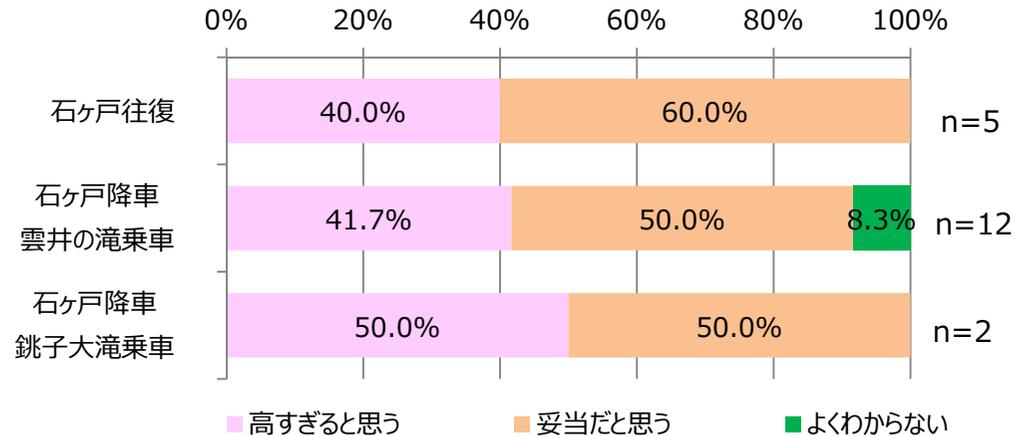


▼ 参加者の主なバス利用区間と利用料金

路線バス利用区間	回答数 (人)	割合 (%)	バス料金*
石ヶ戸往復	5	26.3%	1,800円
石ヶ戸降車 雲井の滝乗車	12	63.2%	2,100円
石ヶ戸降車 銚子大滝乗車	2	10.5%	2,600円
合計	19	100.0%	

※：バス料金は、十和田湖温泉郷駐車場からの家族3人 (大人2人+子ども1人) の往復運賃を記載

▼ 参加者の主なバス利用区間別バス料金に対する評価

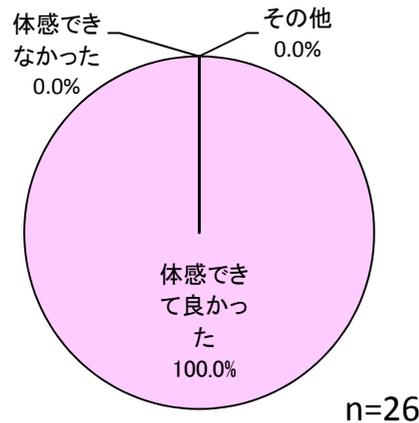


■プロジェクト参加者ヒアリング調査

⑥プロジェクトへの意見・要望

- 参加者全員が奥入瀬溪流のせせらぎを体感できて良かったと回答
- 参加者の8割以上が十和田西高校の生徒によるボランティアガイドを活用しており、その評価も高い
- 広報不足等の問題点を指摘する声もあったが、今後さらに拡大して継続することを望む声も寄せられた

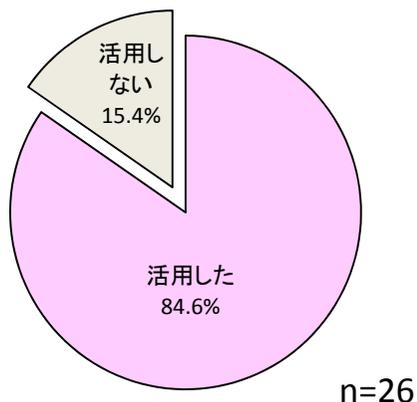
▼奥入瀬溪流のせせらぎ体感状況



▼奥入瀬溪流せせらぎ体感プロジェクトに対する意見・要望

分類	参加者の意見・要望
参加してみた感想	新しい試みと視点での奥入瀬を楽しむ事が出来た。ボランティアの皆さん、スタッフの意気込みが感じられた。
	スタッフの方々、高校生のボランティアが、企画からご苦労様でした。参加者が少なかったので、次回は友人を誘いたいと思います。
	高校生の説明が良かった。
	ボランティアガイドはとても丁寧に接してくれて、元気で良かったです。楽しく歩くことが出来ました。
	高校生ボランティアの方の説明は、とてもわかりやすく、良かったです。改めて良さを感じる事が出来ました。ボランティアもとても良かったです。大変楽しめました。大変楽しい。
実施上の問題点	バス停に臨時バス利用者用の案内が欲しかった。
	その他バスの案内などが、チラシ等に無かったので、もう少しあればわかりやすかったです。広報不足。ちょっと忙しすぎた。
今後の要望	今後はあらゆる事情を克服し日程もさらに多く活動して欲しい。
	もう少し長い区間を歩くコースと2パターン作ってもよさそう。
	複数回、重ねていいと思う。毎回参加したい。参加カードのようなものがあったらいいかな。秋のエコロードフェスタの時も、今日くらい車が少なくなる様にして欲しいと思います。毎年開催して欲しい。

▼高校生ボランティアガイドの活用状況



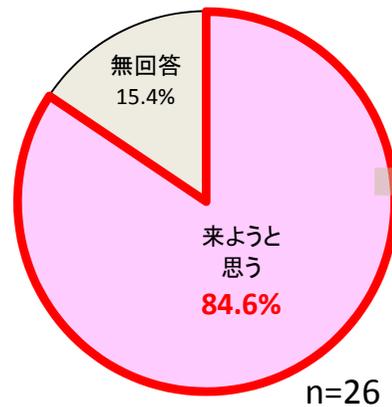
プロジェクト参加者ヒアリング調査

⑦再訪意向等

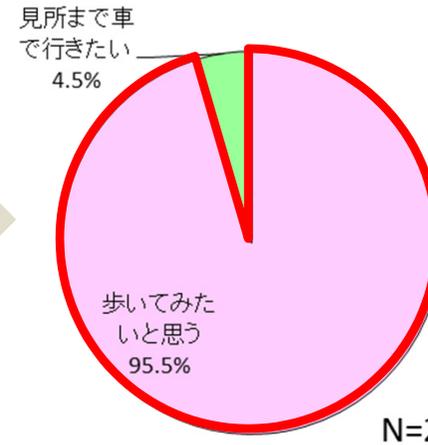
- 参加者の8割以上が再訪の意向があり、大半が奥入瀬渓流区間を歩いてみたいと回答
- 参加者の6割以上が、青樺山バイパス開通後は奥入瀬渓流区間の通行止めに賛成を表明

▼今後、今回のような取り組みが実施された場合の再訪意向

《今後の再訪意向》

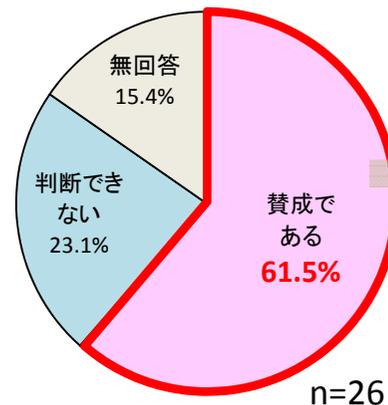


《再訪時の奥入瀬渓流の楽しみ方》



【賛成の主な理由】

▼奥入瀬渓流区間の通行止めに対する意向



- 自然の保護が最優先と思うので。植物等に良いと思います。
- 産業用車輛の通行止めは良いと思う。高齢者や歩行困難は通行できるようにすべき。車道を完全に歩行者にフリーにすることもやってみてはどうか？車いすの方には大変良い方法でしょう。
- ゆっくり散策できるので、良いと思う。いつも駐車する車が多くて困っています。
- 交通量が多いから、静かに歩きたい。
- ゆっくりと安全に散策してみたい。
- 渓流は歩いて観光・体験したい。
- 通年で渓流が楽しめる様になれば良いと思うから。
- 車の音により、自然の音が消されるため。
- 新たな楽しみ方が期待できるので。